

2026年7月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山 形 地 方 気 象 台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田・新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は、後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2026年7月）

【今月の特徴】

○高温 ○多雨

- ・村山・左沢で、日最低気温の高い方から、7月として1位を更新した。
- ・飛島・高峰・米沢で、日降水量が、7月として1位を更新した。
- ・尾花沢で、日最大1時間降水量が、7月として1位を更新した。
- ・高畠で、日最大風速が、7月として1位を更新した。

【概況】

月

上旬は高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、中旬以降は低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多く、下旬は梅雨前線の活動が活発となり大雨となった所があった。

月平均気温は、高く、かなり高い所があった。月降水量は、村山・置賜・最上で多く、村山・置賜ではかなり多い所があった。庄内は平年並から多い。月間日照時間は、村山・置賜で平年並から少なく、庄内・最上は少ない。

上旬

この期間、期間のはじめは低気圧や気圧の谷の影響で雨が降ったが、高気圧に覆われ晴れの日が多かった。

旬平均気温は、高く、庄内はかなり高い所があった。旬降水量は、村山・最上は少なく、かなり少ない所があった。置賜は平年並から少ない。庄内は、かなり少ない。旬間日照時間は多く、かなり多い所があった。

中旬

この期間、低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多かった。また、期間を通じて暖かく湿った空気が流入したため、県内は気温がかなり高く経過した。

旬平均気温は、かなり高い。旬降水量は、村山・置賜は平年並から少ない。庄内・最上は平年並から多い。旬間日照時間は、村山は平年並から少ない。置賜は平年並。庄内・最上は少なく、庄内はかなり少ない所があった。

下旬

この期間、低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多く、置賜地方を中心に大雨となった所があった。

旬平均気温は、平年並で、庄内は高い所と低い所があった。旬降水量は、村山・置賜・最上はかなり多い。庄内は多く、かなり多い所があった。旬間日照時間は、村山・置賜・最上は少なく、かなり少ない所があった。庄内は、かなり少ない。

2 日々の気圧配置（2026年7月）

- 1 日：高気圧が、オホーツク海にあって北日本を緩やかに覆う。一方、低気圧が、東シナ海から山陰沖に進む。
- 2 日：低気圧が、西日本から関東の東に進む。また、前線が、華中から西日本を通過して日本の東にのびる。
- 3 日：高気圧が、千島近海にあって、北日本を緩やかに覆う。一方、気圧の谷が、東北地方を通過する。
- 4 日：高気圧が、千島近海にあって、北日本を緩やかに覆う。
- 5 日：高気圧が、日本の東にあって、北日本を緩やかに覆う。
- 6 日：高気圧が、千島近海にあって、北日本を緩やかに覆う。一方、気圧の谷が、本州付近を通過する。
- 7 日：高気圧が、千島の東にあって、北日本を緩やかに覆う。
- 8 日：高気圧が、千島の東にあって、北日本を緩やかに覆う。
- 9 日：高気圧が、千島の東にあって、本州付近を緩やかに覆う。
- 10 日：高気圧が、日本のはるか東にあって、本州付近を緩やかに覆う。
- 11 日：高気圧が、千島の東にあって本州付近を緩やかに覆う。一方、北日本は気圧の谷となっている。
- 12 日：高気圧が、千島の東にあって本州付近を緩やかに覆う、一方、北日本は気圧の谷となっている。
- 13 日：低気圧が、三陸沖にあってゆっくり北東へ進む。
- 14 日：高気圧が、本州付近を緩やかに覆う。一方、北日本は、気圧の谷となっており、湿った空気の影響を受ける。
- 15 日：高気圧が、本州付近を緩やかに覆う。一方、台風第9号から変わった低気圧が日本海を北東へ進む。
- 16 日：低気圧が、サハリン付近にあって北東へ進む。また、低気圧からのびる前線が北日本を通過する。
- 17 日：高気圧が、北日本を緩やかに覆う。一方、東北地方は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。
- 18 日：低気圧が、黄海から日本海に進み、前線が華南から朝鮮半島を通過して北日本にのびる。
- 19 日：低気圧が、日本海から北海道付近に進み、前線が華中から朝鮮半島を通過して北日本にのびる。
- 20 日：前線が、華南から朝鮮半島を通過して北日本にのびる。
- 21 日：前線が、華中から朝鮮半島を通過して、北日本にのびている。一方、高気圧が日本の南にあって、ほとんど停滞している。
- 22 日：前線が、華中から朝鮮半島を通過して、北日本にのびている。一方、高気圧が日本の南にあって、ほとんど停滞している。
- 23 日：前線が、黄海から日本海を通過して東北地方にのびている。一方、高気圧が日本の南にあって、ほとんど停滞している。
- 24 日：前線が、華北から東日本や東北南部を通過して、関東の東にのびている。
- 25 日：前線が、朝鮮半島から日本海を通過して、東北地方にのびている。
- 26 日：前線が、日本海から東北南部を通過して、日本の東にのびている。
- 27 日：低気圧が、日本海から関東の東に進む。また、前線が東日本から日本の東にのびている。
- 28 日：低気圧が、日本海を東へ進む。
- 29 日：低気圧が、日本海から東北南部を通過して三陸沖に進む。また、前線が関東の東から日本のはるか東にのびる。
- 30 日：低気圧が、日本海北部をゆっくり南へ進む。また、気圧の谷が、東北地方を通過する。
- 31 日：前線が、中国東北区から東北地方にのびる。

3 気候統計値（2026年7月）

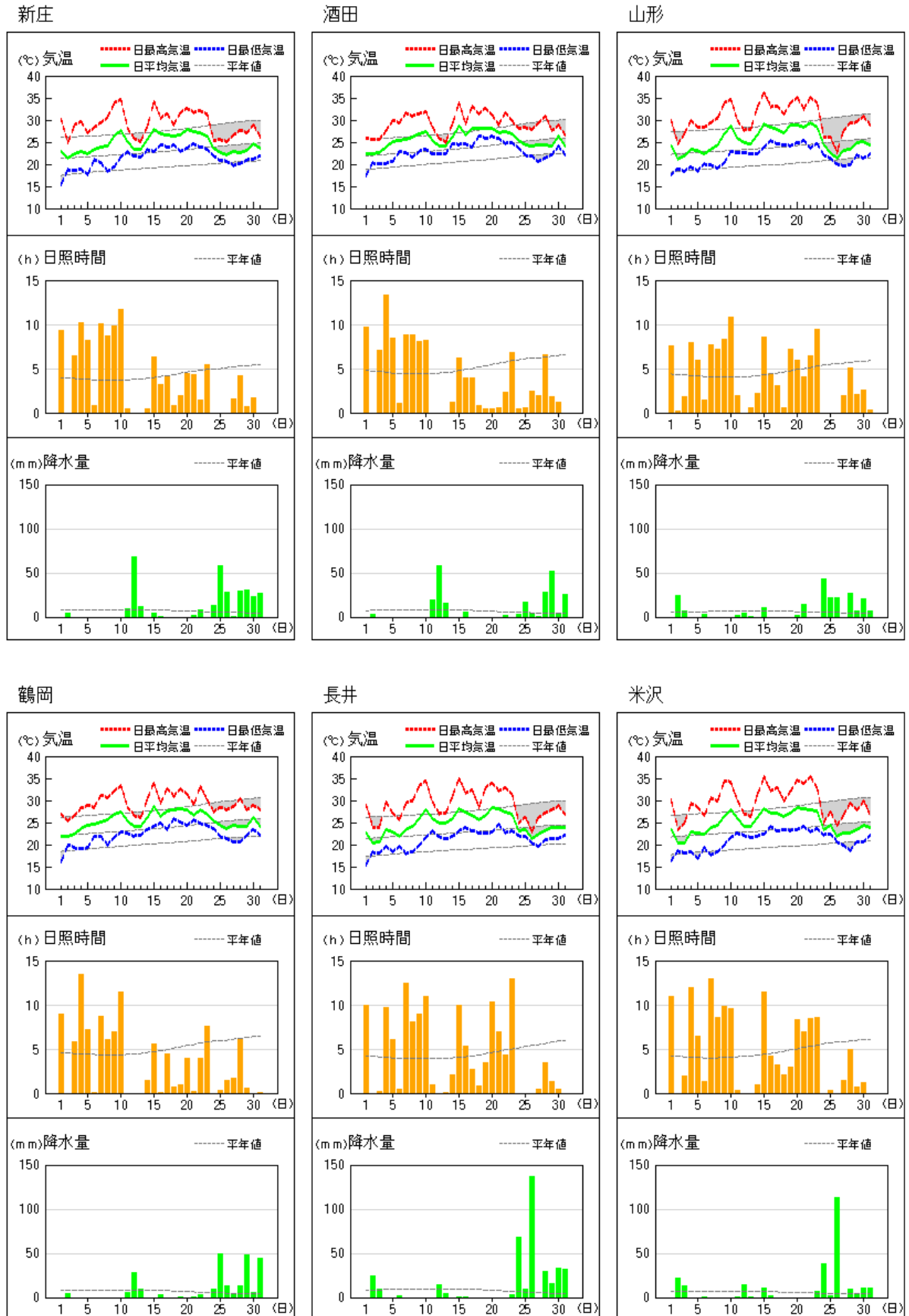
・2026年7月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本 年	平 年 差 （℃）	階級区分	本 年	平 年 比 （%）	階級区分	本 年	平 年 比 （%）	階級区分
山形	上旬	24.0	+1.2	高い	34.5	60	少ない	59.0	143	多い
	中旬	27.2	+3.6	かなり高い	20.0	29	少ない	34.6	82	平年並
	下旬	25.0	-0.2	平年並	163.0	270	かなり多い	32.0	52	少ない
	月	25.4	+1.5	高い	217.5	116	多い	125.6	87	少ない
酒田	上旬	24.8	+2.4	かなり高い	3.0	4	かなり少ない	73.6	163	かなり多い
	中旬	26.8	+3.3	かなり高い	100.0	122	多い	17.2	37	かなり少ない
	下旬	25.4	-0.1	平年並	136.5	242	多い	24.9	37	かなり少ない
	月	25.6	+1.8	かなり高い	239.5	110	平年並	115.7	73	少ない
新庄	上旬	23.8	+2.0	高い	5.0	6	かなり少ない	75.3	202	かなり多い
	中旬	26.0	+3.3	かなり高い	94.5	116	平年並	21.7	55	少ない
	下旬	24.2	-0.1	平年並	222.0	401	かなり多い	19.5	35	かなり少ない
	月	24.6	+1.6	かなり高い	321.5	146	多い	116.5	88	少ない
米沢	上旬	23.5	+1.2	高い	36.5	62	平年並	73.6	184	かなり多い
	中旬	26.5	+3.3	かなり高い	27.5	41	少ない	33.5	77	平年並
	下旬	24.6	-0.1	平年並	196.0	384	かなり多い	32.5	52	少ない
	月	24.8	+1.4	高い	260.0	146	多い	139.6	96	平年並

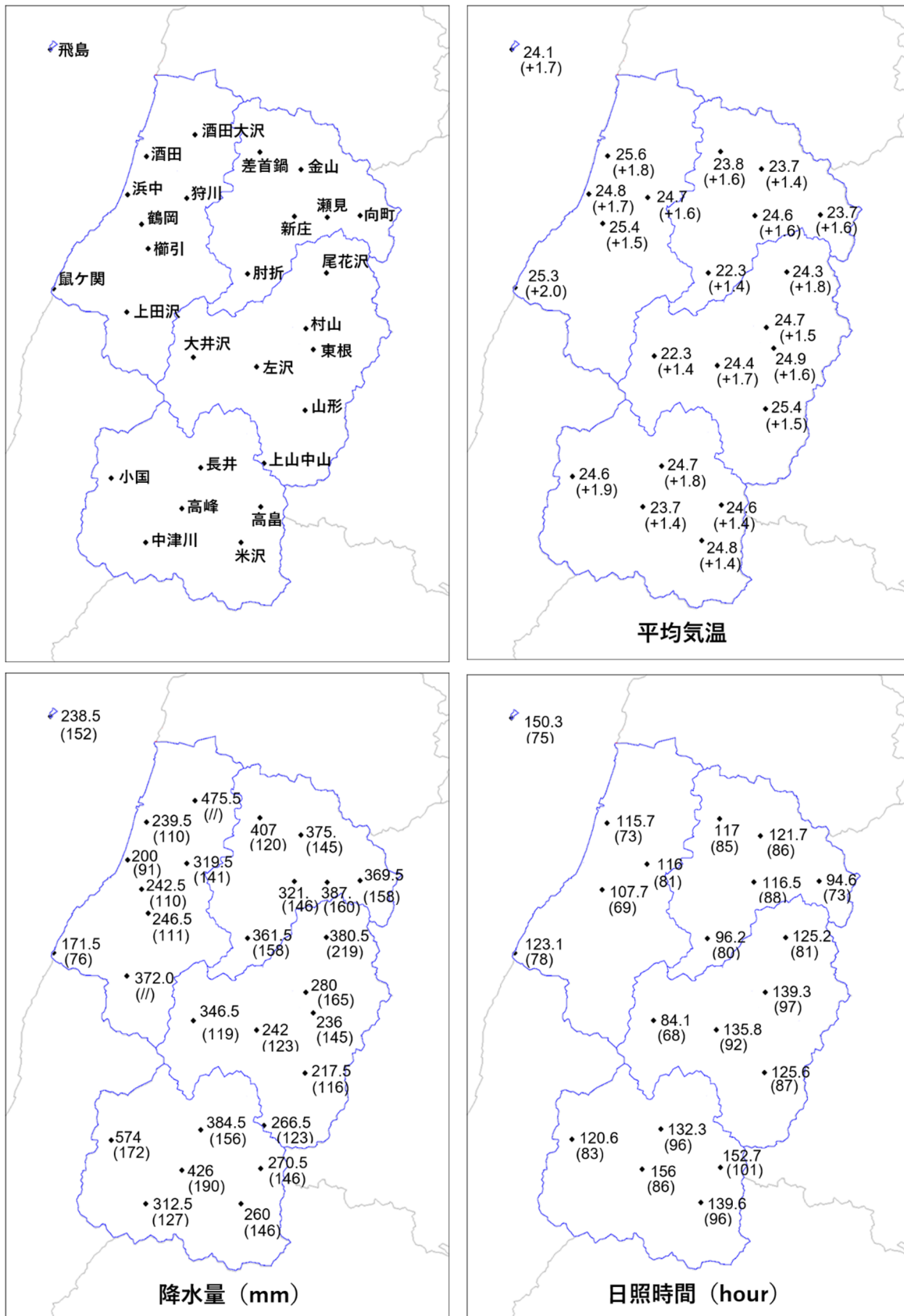
【注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし （平年値は1991～2020年の平均値）

4 気象経過図（2026年7月）

アメダス 気象経過図：2026年07月01日-2026年07月31日



5 気象分布図（2026年7月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991～2020年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2026年7月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄):7月として1位～3位更新を記載

なし

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く):7月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最低気温の高い方から (℃)	村山	24.9	1	16日	2002年
	左沢	24.1	1	16日	1977年
日降水量(mm)	飛島	126.0	1	28日	1979年
	高峰	187.0	1	26日	1976年
	米沢	113.0	1	26日	1976年
日最大1時間降水量(mm)	尾花沢	53.5	1	30日	1976年
日最大風速・風向 (m/s・16方位)	高畠	6.9・W	1	29日	1977年

※同じ値(タイ記録)の場合は起日の新しい方を上位とする

※1:年間を通じて1位を更新

7 その他

○梅雨明け(速報)

山形県を含む東北南部は、8月4日頃に梅雨明けしたとみられる(平年より11日遅い、昨年より17日遅い)。

※各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は、気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php>
 【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>
 【季節予報】 https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=060000